

### 魅力的な津山に自信をもって



春名経営コンサルタント代表 春名 昌哉さん

**春名** 今年4月に市政アドバイザーになるまでは、産業大使として企業誘致などのお手伝いを6年間させてもらいました。そのかわりのなかで津山の人は総じて「いい人」が多いと感じています。人を押しつけてでも前に出ようという人が少ない。しかし「いい人」だけでは生活していけません。もつと打って出てもいいと思います。津山から東京を見ると「東京は活気があっていいな」と思うかもしれませんが、わたしたち東京に住む者から見ると「津山っていいところだなあ」としみじみ思います。津山に来るとすごく気持ちが安らぐんですね。津山には東京にはない「幸せ」があると思っています。津山の人にはもつと自分のまちのいいところに気付いてほしいし、自分のまちに自信をもつてほしいと思います。わたしは箕作阮甫が好きでゆかりの地をいろいろと訪ねています。阮甫の情熱を津山の人にも受け継いでもらいたい。

本来、まちづくりは長野県小布施町のように自然や景観を破壊しない修景という手法で整備されるべきです。これは市民自身が自分たちのまちをどうすればよいかを考えなければできないことです。市民のこういった行動に対して行政が物的・人的支援と行動の規制をすることでまちづくりが進んでいくと思います。

「ブランド」とは「人」だと思います。津山の人はずっと自信をもつてほしいと思います。

### 歴史的観光資源をもっとアピール



財団法人ナショナルトラスト顧問 佐々木 建成さん

**佐々木** 「二点突破」で知名度が上がってくるなかで津山の観光が盛り上がることは、すばらしいことだと思います。B-1グランプリで前回は3位、今回は4位とホルモンうどんも全国の人に安定した関心をもたれる食文化になってきたので、将来につなげていけると期待しています。

やはり、津山は歴史や文化に根差した都市であると思います。津山洋学資料館はわたしも見ましたが、これも歴史・文化の中核を占める施設として横に広がっていくものだろうと思います。

どう津山を売り出していかか考えるときに、コンセプトをはっきりさせる必要があると思います。飛騨古川町（現岐阜県飛騨市）や新潟県村上市などの先進地域を実際に訪れて、それを持ち帰り、市民の意見を聞いてみたらいいかがでしょうか。長期的に観光振興を考えていくことも大事だと思います。やはり経済の起爆剤として効果があるのは観光です。市の行政のなかで観光のウエイトを上げていき、市民を巻き込んだ形で政策をまとめていく、大きな方向性と具体的な展開について行政と市民とが共有し、動いていくことが必要だと思います。今、津山市の中の観光行政は一つの課に過ぎません。観光専門部があってもいいのではないのでしょうか。

津山は歴史・文化では観光資源には事欠かないでしょう。そういったものをうまくアレンジして観光客にアピールしていくことだと思います。

### 津山の規模に合った観光政策を



山本一行法律事務所 弁護士 山本 一行さん

**山本** 津山はずっと先の未来を考えたまちづくり、つまり、お年寄りに優しいまちづくりを目指すべきだと思います。

今回、厚木市であったB-1グランプリには息子が友人と行き、ホルモンうどんに投票してきました。新聞では、この2日間の厚木市への経済効果が約36億円とっています。

津山市の観光政策については短期的・中期的・長期的に考えなければならぬと思います。長期的に考えると津山城の天守閣復元などが考えられますが…。

電線の地中化については、わたしも賛成です。つい最近も津山に帰省しましたが、現在の状態では地中化してあるところとそうでないところとの落差があり過ぎる感じでした。宮川大橋から東の城東地区は地中化してほしいと思います。

観光政策はそれぞれのまちに合ったことを考えないといけません。津山は津山の規模に合った観光政策を考えなければならぬと思います。最近、岩手県遠野市に行きましたが、複数の曲屋を一方所に移築して一つの観光地としていました。津山もそういったものを作ってみてはどうでしょうか。

### まちづくりにはビジョンが必要



株松屋 顧問 隅田 憲平さん

**隅田** B-1グランプリには前回に引き続き、今回も行きました。ホルモンうどんがここまで来る道のは決して単純ではなく、メンバーの大変な努力があったと思います。これを観光の核にしていかなければなりません。それと併せて津山洋学資料館も核になると思います。そのほかにもあらゆる歴史的資源をうまくリンクさせて、観光コースにし「津山に行けばココとココがあるよ」というものが作れないかと思っています。津山の観光資源から想像すると、5、6つのコースはできると思っています。そうすれば津山に宿泊する人も増えてくるのではないのでしょうか。

観光資源を維持していくには行政の持続的な関与が必要です。どんな観光資源でも作った後、そのまましておくことがないようにしなければなりません。津山洋学資料館もいかに観光の核にしていくかを考えることが大切だと思います。鳥取県境港市では妖怪でまちづくりを行っています。まちを歩くところと妖怪のところに妖怪のブロンズ像があるという力の入れ様です。

東京でも「江戸城再建をめざす会」や日本橋に架かる高速道路をなくす運動などがあります。一朝一夕にできるものではないと思いますが、こういった活動を通して、広く市民に行政の長期的ビジョンを知ってもらおうとしているのです。まちづくりに関しても大きな方向性を示すことが重要ではないかと思っています。

### 津山洋学資料館が城東地区の核に



象設計集団 建築家 富田 玲子さん

**富田** 設計させていただいた津山洋学資料館が日本建築家協会中国支部の一般建築部門で、中国建築大賞に決まりました（19ページに関連記事あり）。建物の形や外観だけでなく、周辺の町並みとの関係や、津山洋学資料館の運営の仕方など、すべてを見て評価されたことです。とてもうれしいうれしいことです。城東地区の核となるような場所作りに参加させてもらったことは本当によかったなと思っています。やはり、それぞれの土地や場所にはその土地や場所が持つ力があるものです。リニューアルオープンして7カ月で1万2千人もの来場者があったことはとても喜ばしいことですね。

旧資料館の大きさでは資料がとて取まらないということでも新しい資料館が建設されました。今度の資料館も決して大きくはありませんが、関係者の皆さんの知恵を集めて丁寧に作っていくことの大切さや、中身をどうやって生かしていくかを考えることが重要だと改めて感じました。

わたしも城東地区の電線地中化をもつと進めてもらいたいと思います。また、城東地区に町家の雰囲気を残した旅館などがあってもいいですね。津山にはホルモンうどんのほかにも全国に売りに出せるグルメがあると思います。以前、津山でいただいたそずり鍋やカモ鍋などもとてもおいしかったです。もつと宣伝していけばいいのではないのでしょうか。

### 笑顔あふれるふるさと津山を



津山市長 宮地 昭範

**宮地** 多くの地方都市が抱えている課題に人口減少と少子高齢化があります。津山市においても同様のことがいえます。とりわけ人口減少はまちづくりや地域活力をどのように維持していくかを考えるとき、重要な問題となってきます。わたしは定住人口をどう増やしていくかということと併せて、交流人口がどうしたら増加するかを考えることは喫緊の課題であると認識しています。国においても観光立国推進本部が設置されるなど、観光に対する期待が高まっています。津山市には津山ホルモンうどんを始め「日本さくらの名所100選」の鶴山公園や「にほんの里100選」の阿波地域、津山洋学資料館など全国に誇れる観光資源があります。そのほかにも地域に愛される観光資源は豊富にあります。

今後、津山を訪れる観光客の皆さんがもう一度訪れたいと思ってもらえる仕掛けをすることと併せて、市の職員や市民が津山を訪れる人に対して「おもてなしの心」で接することも大切だと考えます。わたしは元気な津山市をつくるために「笑顔あふれるふるさと津山」を将来像として頑張っていく決意です。

杉山先生にはご講演をいただき、感謝申し上げます。また、市政アドバイザーの皆さんからは貴重なご意見、ご提言を賜り、厚くお礼申し上げます。今後とも、津山市に対するご支援、ご協力を心からお願いたします。